

なぜなぜ遊びの効果って？

なぜなぜ遊びは語彙を増やしたり、想像力を養ったりと、とても頭を使う遊びです。

そんな「なぜなぜ遊び」の知育効果とは、どのようなものがあるのでしょうか。

まず、問題を解く力が育ちます。

子ども達には、知識を増やす事も必要ですが、問題を解く意欲や集中力、考える力がとても大切です。

問題を聞いて理解し、答えを頭の中の引き出しから探し、出た答えを言葉としてアウトプットする。

この一連の繰り返しは頭のとても良いトレーニングになります。

すぐに答えが分からない時、子ども達は想像力や発想力によって答えを導きだそうとします。

まったく違う答えも出てきますが、それもまた面白いですよ。

なぜ、この答えになったの？ときいてみると、なるほど！と思う事もしばしば。この発想力が大事なのです。

また、なぜなぜは、答えるよりも問題を作る方が難しいですよ。

子どもから「今度は私からなぜなぜ出したい！」と言って来たら、是非一緒に楽しんであげてください。

言葉の想像力が養われたり、論理的な思考能力がつくなど、より高度な能力が磨かれますよ。

またなぜなぜの本もいろいろあります。子どもの年齢や遊び方、好みなどから合ったものを選んであげてください。

なぜなぜの本の対象年齢は、大体年中（4～5歳）から小学校1年生くらいまでの本が多く、小学校3年生くらいまでが主流になります。

一人で遊ぶことが多い場合は、絵本タイプやストーリー仕立てのなぜなぜ本がおすすめです。

お友達や親子で遊ぶには、問題数が多いものが良いですね。

なぞなぞとゲームが組み合わさったものもあるので、みんなでわいわいと遊べます。

絵本を使ってもよし、自分で問題を考えてもよし！「なぞなぞ遊び」で脳トレ！

親子で楽しんでみませんか。